



学校法人恩恵学園 恩恵幼稚園

【教育理念】 『 神の恩恵に守られて、愛されていることを知り、愛することのできる子に 』

ノルウェーの宣教師によって1954年に創立されて以来、キリスト教保育を根幹として保育をしています。キリスト教保育では、子どもも大人も神によって創造され生命を与えられ、一人ひとりがかけがえのない存在であり、神の恵みの中に生かされていると考えています。聖書を通してイエス・キリストを知り、見えない神の恵みを感じ、神の導きに信頼して生きようとして願っています。

乳幼児は、親や保育者の暖かな愛ある養育を受けることによって信頼感が芽生え、安定します。このような安定感は、集団生活での友達や周囲の大人との人間関係にも影響し、人に愛され受け入れられていることによって、互いに愛し合う交わりの世界を経験し、神の愛を知る素地が養われます。

キリスト教保育の目的は、神に愛されている自分を知り、神の愛に応答して生きる者となるとともに、他者もまた、神に愛される存在であることに気付き、よき隣人として生活できるようになることです。

【教育目標】 ☆神に感謝する心 ☆命を大切にする心 ☆人を愛する心

【教育方針】 恩恵幼稚園ではこんな日々をめざし、大切にしています

☆一人ひとりを大切に

子どもたちは、神様から命を与えられ、愛されているかけがえのない存在です。その個性と人格をありのままに受けとめ、尊重することが、保育の第一歩です。信頼関係を築くなかで、子ども自身が自分を信じ、自分らしい歩みをはじめることが出来るように、絶えず応援したいと思っています。

☆友だちっていいな

友だちと遊ぶなかで、子どもは自分と他者との違いを知っていくでしょう。たくさんのぶつかりあいや葛藤を通して、悩み、考え、やがて理解しあい、“共に生きる”ことを学んでいきます。認め合い、力を合わせることの楽しさ、喜びを味わうための“道すじ”を大切にしたいと思います。

☆知りたい、やってみたい

子どもが夢中になって、いきいきと遊ぶことは、“生きる力”に大いにつながります。工夫したり、悩んだり、納得するまで繰り返すなかで、思考力や想像力、そして、“意志”が育まれます。ですから、好奇心や探求心を大切に受けとめ、子どもと共に心を動かす保育をしていきたいと願っています。

☆神さまの恵みを知り、世界に目を向ける

自然の美しさや不思議さに気づき、その恵みに感謝する心を育みます。また、世界に目を向けるとき、現実には人と自然との関係や、国と国との関係に多くの課題があります。人と自然の調和、世界の平和に私たちがどう貢献できるのか、共に祈り、考え、やがて行動できる人になりたいと願います。

